

すべての会場の講座がながさき県民大学の連携講座となっています

令和7年度 長崎県立大学 リカレント講座

(社会人の学び直し)

参加無料

経営学部 経営学科

統一テーマ 経営学と会計学の知見から在るべき企業の姿を考える

経営学と会計学の知見から在るべき企業の姿を理解することを目的とします。

日程	2025/8/5(火)、8/7(木) (全2回)		会場	主会場: 佐世保校 2号館(地域交流棟) 1階2103教室 遠隔会場: シーボルト校 東棟1階E109講義室
時間	8/5 18:30~19:30	8/7 18:30~20:00		
講師	坂根 純輝准教授 田代 智治准教授			
	 			
対象	企業経営に興味のある方、経営学と会計学に関心を寄せる方			



ご自宅等からのオンライン受講はこちらから申し込みをしてください

国際社会学部 国際社会学科

統一テーマ グローバル社会を理解する メディアのコンテンツ(情報)どう読み解く!?

社会経済活動のグローバル化と情報通信技術の革新に伴い、いまやヒト、モノ、カネのみならず情報が容易に国境を越え、「グローバル化する情報メディア環境」が出現し「推し活」は国境を越え、人々のモビリティ(可動性)は観光の在り様にも変容をもたらしく(連動)が促される一方で、人々の関心は偏狭な自己充足的な次元に矮小化し、社会的分断も発生しています。この新たな情報メディア環境に対する理解と社会情報を読み解くメディア・リテラシーについて社会科学の観点から多角的に解説します。

日程	2025/8/30(土) (全3回)			会場	主会場: シーボルト校 東棟1階E110講義室 遠隔会場: 佐世保校 2号館(地域交流棟) 1階2103教室
時間	13:00~14:00	14:20~15:20	15:40~16:40		
講師	吉光 正絵教授	村上 昂音准教授	河又 貴洋教授		
					
対象	小中高校の教員などの教職従事者や国際社会に関心を寄せる方				

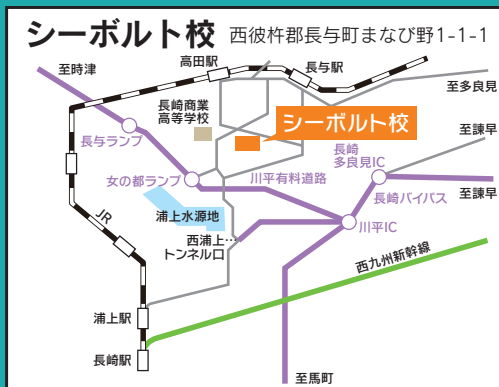
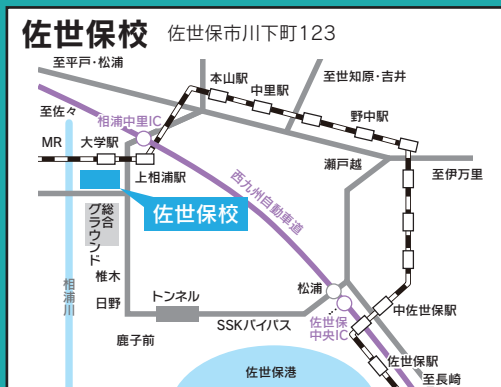


ご自宅等からのオンライン受講はこちらから申し込みをしてください

■主催／長崎県立大学 ■後援／長崎県教育委員会、佐世保市、長与町

会場案内

駐車場あり



本学の様々な情報はWEBでご覧いただけます

ホームページ

Facebook



お問い合わせ



長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

佐世保校
シーボルト校

〈企画広報課〉
〈総務企画課〉

TEL 0956-47-5856
TEL 095-813-5735

リカレント講座

※講演時間は
質疑応答を
含みます

**参加
無料**
どなたでも
参加できます

経営学部 経営学科

主会場 佐世保校

遠隔会場 シーボルト校

統一テーマ **経営学と会計学の知見から在るべき企業の姿を考える**

8月5日(火)

講演時間: 18:30~19:30



会計不正事例を通して在るべき企業の姿を考える

講師/ 坂根 純輝 准教授

ニュースや新聞で企業不祥事を見たときに、その内容をきちんと理解できていない人がほとんどではないでしょうか。企業不祥事にはお金が絡んでいるケースがほとんどで、その多くが会計不正に繋がっています。会計不正事例を調査すると、問題を抱えている企業の特徴が明らかになる一方で、企業の在るべき姿も明らかになります。しかし、専門知識がないと会計不正の内容を理解することは大変困難です。そこで、在るべき企業の姿を理解するために、会計を専門とする講師が会計不正事例を解説し、検討します。

8月7日(木)

講演時間: 18:30~20:00



中小企業の成長発展を考える

講師/ 田代 智治 准教授

現在、学術的、実務的に変革の機会を捉え、持続的に成長発展を遂げる中小企業に注目が集まっています。また、アントレプレナーシップ研究分野においても企業の成長発展とは、中心的研究課題の1つであるとされています。本講義では、「新製品・サービスの開発と導入による新事業創出」を中心テーマに据え、長期的に成長発展する中小企業に注目し、「量」と「質」の両側面から中小企業の成長発展を具体的にどのように捉えるかといった点について考えていきたいと思います。

国際社会学部 国際社会学科

主会場 シーボルト校

遠隔会場 佐世保校

統一テーマ **グローバル社会を理解する メディアのコンテンツ(情報)どう読み解く!?**

8月30日(土)

講演時間: 13:00~14:00



ライブ・エンターテインメントから考えるメディア文化の現在

講師/ 吉光 正絵 教授

本講座では、「推し活」として注目されることも多いファンのライブ・エンターテインメントへの参加が、グローバル化やデジタル化によってどのように変化しているのかを考えます。社会学やメディア研究の理論的視点をもとに、流行現象の背後にある要因を探ることで、メディア文化が私たちの娯楽と生活に与えている影響を分析するための視点を身につけましょう。

8月30日(土)

講演時間: 14:20~15:20



「観光×教育」——グローバル時代の学びを地域からデザインする

講師/ 村上 昂音 准教授

観光とは何か。ただの移動や娯楽にとどまりません。土地を歩き、人と交わることで、新たな風景が開け、歴史が語られ、思いがけない問いが立ち上がります。もし、それを学びの場に引き寄せたなら、どのような広がりが見えてくるでしょうか。観光の視点を授業に取り入れることで、地域と世界のつながりが新たな輪郭をもって立ち現れるかもしれません。本講座でその可能性をともに探っていきましょう。

8月30日(土)

講演時間: 15:40~16:40



テクノソーシャルイズムの情報地政経学——連結と分断のグローバル社会を考える

講師/ 河又 貴洋 教授

ネット環境はグローバルな連結を可能にしながらも、ソーシャルメディアのネット世界には分断と対立が渦巻く社会が可視化してきています。リアル(現実)とバーチャル(仮想)、ファクト(真実)とフェイク(虚構)は、我々の世界観や人々の信頼関係にいかなる影響をもたらしているのでしょうか。テクノソーシャルイズム(高度な技術の社会的受容)の可能性を米国・欧州・(東)アジアの情報地政経学的位相から読み解いてみましょう。